



連絡会ニュース・春夏秋冬

水道局と意見交換会を開催

東京都水道局と協同組合東京都水道請負工事連絡会は、各種の単独約十工事の課題に対して、意見交換会を開催した。意見交換会は、11月20日（月）13時15分から、都庁第一本庁舎で開催された。

意見交換会の開催は、水道局給水部給水課の山崎課長代理の司会により、始まり、東京都水道局 給水部給水課長 茨木延和氏の挨拶があり、所用により議長は退席された。その後、活発な質疑応答を開始した。

開催日 令和3年11月30日 （月）13時15分 開催場所 都庁第一本庁舎 22階	給水部配水課 （施設管理担当） 三浦 隆司 課長代理 給水部給水課（事務局） 湯村 一美 主任
東京都水道局出席者 給水部給水課 茨木 延和 課長 給水部給水課 （給水装置担当） 大谷 康廣 課長代理 給水部給水課 （漏れ防止担当） 山崎 千秋 課長代理	連絡会出席者 代表理事 目澤 郎 副理事長 岩澤 芳光 副理事長 高橋 昌也 理事 三浦 良一 理事 中川 英樹 理事 杉本 光信 菊池 拓哉（事務局） 北澤 賢次（事務局）



令和3年 水道局との意見交換会 茨木 延和課長の挨拶

つきまして、協力して頂きます。また、屋敷を問わず、工事等に対応していただきまして、誠にありがとうございます。

今年につきましては、オリンピック・パラリンピックにおいては、工事の抑制並びに、また、引き続き新型コロナウイルスの感染症対策ということで、様々な戦いがあつたと思います。が、例年以上に厳しい施工管理、現場管理が求められた中で、皆様におかれましては、様々な対策や工夫を講じつつ、日々、業務の対応して頂きて、重ねて御礼申し上げます。

給水部における諸員準備契約につきましては、ご案内のとおり、空想的に発生する水道工事の事故の対応とか、事業上、速やかに対応しなければならぬもの、整備、掘削等の工事、並びに需要家の要望とか、あと、工業水道の切り替えと、水道事業を運営する上で不可欠な工事などがございます。

今後の水道事業の発展には、引き続き、当然ながら皆様の協力が不可欠と認識しております。そのため、本日の意見交換会を通じた皆様方の貴重な意見を、大変、有意義なものにしていただきと考えております。

皆様方の意見を参考に、今後の水道事業に活用していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

意見交換会の質疑応答の詳細については、非掲載としました。

第9期 第5回

協同組合東京都水道請負工事連絡会理事会報告

協同組合東京都水道請負工事連絡会は、令和3年11月1日（水）15時から、第9期第5回理事会を京王プラザホテル本館4階（けやき）で開催した。

今回の第5回理事会は、総務・厚生委員会の報告事項やその他協議事項を中心に行つた。

以下は、議事録の要旨である。

【出席者】代表理事 目澤 郎、副理事長 岩澤 芳光、高橋 昌也、技術 中島 新吉、藤井 正裕、三浦 良一、王 正正、倉生 杉本 光信、石田 強、中川 英樹、金 達、尾畑 浩郎、畠田 太一、藤田 杉田 太力夫

1、工事別工事高について（総務事項）

目澤理事長より説明した。6月から10月までのデータの事務手数料は100万円、昨年度の94%となっている。昨年度より80万円、少ないが、業者数が減つてを考えると、例年よりは多いと思つてゐる。

キッンの9月末の工事高は、52万円であり、ちょっと少ない。キッンの情報では、例年と同程度にあるとのことであるが、現時点では、工事高が少ないところあり、今後、様子を見ていく。

令和3年度の収支について、9月末現在で、67万円の黒字となっているが、消費税や、会費の収入を考えると、最終的には黒字には転じない、例年通りと思つていく。

【総務事項】
目澤理事長より説明した。予費希望の東京都知事とのヒアリングについては、理事に直接面会し、書類を提出していた（昨年は、コロナのためテレビ会議で実施が、今回、都知事が入院されているので、副知事

3、総務・厚生委員会の活動報告（報告事項）
杉本厚生委員長が報告した。

総務厚生委員会は、11月1日 16時から約2時間、オンライン会議で開催した。

参加者は、目澤理事長、岩澤副理事長、三浦理事、石田理事、中川理事、杉本理事が参加した。

お主な議題としては、①質問交歓会の開催について、②クボタ京葉工場の本管研修会について、③水道局との意見交換会について、④防災訓練報告書について

2、予費希望の東京都知事とのヒアリングについて（報告事項）

目澤理事長より説明した。予費希望の東京都知事とのヒアリングについては、理事に直接面会し、書類を提出していた（昨年は、コロナのためテレビ会議で実施が、今回、都知事が入院されているので、副知事

3、総務・厚生委員会の活動報告（報告事項）
杉本厚生委員長が報告した。

総務厚生委員会は、11月1日 16時から約2時間、オンライン会議で開催した。

参加者は、目澤理事長、岩澤副理事長、三浦理事、石田理事、中川理事、杉本理事が参加した。

お主な議題としては、①質問交歓会の開催について、②クボタ京葉工場の本管研修会について、③水道局との意見交換会について、④防災訓練報告書について

4、令和4年度質問交歓会について（報告事項・決議事項）
杉本厚生委員長が報告した。

質問交歓会の開催については、他の団体（東管）三管は、非開催となり、また、水道局からは、当組合の質問交歓会に出席するとは難しいとのことなので、当組合も中止する

5、今年度の研修会について（協議事項）
目澤理事長より、今年度の研修会の件について、箱根で開催することを提案した。取り敢えず、令和4年2月18日（金）10日（土）に1泊2日で河津の仮予約をしたと報告した。

この提案について協議された。

この箱根案については、コロナの状況や出席予想、宿泊人数などを考える必要があるので、開催日時についても不安定要素もあり、現在の状況では、決めきれないので、はいかどの意見も出され、すくは河津の予約の解約をしないで、京王プラザホテルで行う両面方向も考えていく等の意見も出された。しかし、あ

現時点では、開催は難しいと見え、今回、中止したいと思つてゐる。

したがって、杉本理事が採決をとり、京王プラザホテルでも、研修会の開催を考へていくことが了承された。

出するところと言われてるので、出席者の名前を確定して提出する。

研修上の事故について、保険を検討している。ソフィア・アレンに問い合わせる。なお、30日には、吉倉顧問の出席を調整中である。

7、水道局との意見交換会について（報告事項・協議事項）
杉本厚生委員長が報告した。

総務厚生委員会で意見書をまとめた。異論がなければ、この意見書を提出したい。

意見書の内容について、説明があり、特に、最後のその他の項目での質疑応答があつた。

また、このほかに、意見があれば、今週中に出してほしい。なければ、これを水道局に提出すると、出席者の全員の同意を得た。

8、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

10、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

11、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

12、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

13、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

14、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

15、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

16、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

17、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

18、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

19、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

20、令和3年度防災訓練報告書について
杉本厚生委員長が報告した。防災訓練報告書について

反射材で安心・安全をサポート 安全保安用品、標識のタマ商会



反射ベスト



LEDベスト

LED反射ベスト・合図灯・反射用品・旗章
カラーコーン・工事表示板・看板他

株式会社タマ商会
〒179-0085
東京都練馬区平和台1-34-10
03-3934-5541
http://www.tamashokai.co.jp/

スプレーの ご注文は 当店へ!



カビ止め塗料も
（カビアウト）
取り扱い中
詳しくはHPへ
http://www.kabiout.com

(株)小松塗料商会
〒146-0082
東京都大田区池上7-8-12
TEL 03-3752-2575
FAX 03-3755-7362

令和4年度水道耐震化計画の策定と書類の提出

東京都では、例年、策定にあたり、政策現場の実態に精通する団体から、知事が直接意見、要望を伺う場を設けている。しかし、昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大があり、テレワーク方式で実施した。また、現在は、新型コロナウイルスの感染症は落ち着きを見せているが、都知事の体調不調や第6波が懸念されていることから、副知事での対応が適切になった。しかし、できれば書類での提出が望ましいとされることから、協同組合東京都水道請負工事連絡会としては、書類での提出を選択した。

要請書は、局が明確にした目標である新規事業計画の早期達成を強く求めた。以下は要請書の内容である。

令和4年度事業要請書

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生以来、東京都におかれましては、都民の健康維持、都民生活、都市活動を支えるのに必要不可欠である基幹的ライフラインの安定に絶大な努力がなされた東京都の姿勢に深い敬意と感謝の意を表します。

現在、東京都の給水区域内において、給水普及率は100%、給水件数は約76万世帯であり、給水人口は約1350万人、配水管延長は約2万7000km、付属設備は約56万個と膨大な数値であり、東京都水道局の維持管理計画により計画的施設更新、震災災害対策等の施設整備を誠実に履行し適切に対応されていることにより、安心な安全な安定給水の確保が為されていると承知致しております。

しかし、現在の配水本小は、水道局への提出するともに、組合員全員に配布するとして、併せて組合ホームページに掲載することにした。

目録理事長から補正説明皆さんへ協力ありがとうございます。無事に防

管や制水弁を含む付属設備、継手並びに給水管の中には、耐用年数の経過により老朽化や耐震性不足による機能低下、或いは機能不良による漏水原因となる可能性がある施設が存在しており、これらの施設水準の向上、整備が安定給水を更に担保するため必要不可欠であると理解しております。

又、震災時や災害時に、より効果的に長期断水被害を軽減できるよう減災施策及び、配水本小管、付属設備の早期更新、並びに耐震継手化の早期達成が重要な施策であり、都民から求められていると承知致しております。

又、震災時や災害時に、より効果的に長期断水被害を軽減できるよう減災施策及び、配水本小管、付属設備の早期更新、並びに耐震継手化の早期達成が重要な施策であり、都民から求められていると承知致しております。

又、震災時や災害時に、より効果的に長期断水被害を軽減できるよう減災施策及び、配水本小管、付属設備の早期更新、並びに耐震継手化の早期達成が重要な施策であり、都民から求められていると承知致しております。

又、震災時や災害時に、より効果的に長期断水被害を軽減できるよう減災施策及び、配水本小管、付属設備の早期更新、並びに耐震継手化の早期達成が重要な施策であり、都民から求められていると承知致しております。

おります。

当組合では平成24年4月20日に東京都水道局と「災害時における水道施設等の応急措置の協力に関する協定」を締結しており、協力団体としての責任を履行すべく毎年実施している防災訓練をはじめ、技術者の雇用確保、資機材、労務信託、資材置き場の確保、又、技術力の継承や向上も含めた中長期的設備投資に努めております。

都内に埋設されている配水管、給水管は、経年劣化に加え、地盤の不均等沈下、腐食性土壌、交通荷重の影響を受け、常に漏水の可能性がります。

事故が発生した場合には、出水不良、道路陥没や建物への浸水等の二次被害をもたらす危険性もあります。

緊急時における東京都水道局への要望は勿論の事、東京都水道局が策定される事業目的や数値目標の早期達成を誠実に履行し、都民に対する給水を可能な限り確保する事が当組合の使命と考えております。

当組合では、緊急時における対応能力向上を義務とし、断水被害の抑制や早期に平常給水可能となるよう応急対策諸活動迅速、的確に実施できる体制を早期に確立されるよう水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)におきましては、

当組合では、緊急時における対応能力向上を義務とし、断水被害の抑制や早期に平常給水可能となるよう応急対策諸活動迅速、的確に実施できる体制を早期に確立されるよう水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)におきましては、

理等を積極的に施すよう要請致します。

又、災害時においても最大限、安定給水が可能となるよう、新規計画事業の策定を強く要請致します。

2、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約に関する要望

当組合では、東京都水道局が示す安定給水への取組状況の数値等や早期の耐震継手化を旨に大規模災害時においても断水しない水道の構築に徹力ながら是非ともその一翼を担いたいと考えております。

給水管の耐震性能の早期確保、並びに漏水の未然防止、断水率の軽減と早期復旧が可能となります。

東京都水道局が維持管理される配水区域内には配水本小管約2万7000kmが布設されており、この膨大な延長の配水本小管には制水弁をはじめ消火栓、空気弁等の付属設備が約56万個設置されております。

東京都水道局においては、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約において、工事請負単価をさらに増加するよう強く要請致します。

又、水道用ステンレス鋼管においては、埋設が開始されてから既に約40年が経過しております。現在は衛生性、耐食性、管路の耐震性に優れた水道用波状ステンレス鋼管を使用しており、水道用ステンレス鋼管においても経年化した水道用ステンレス鋼管の早期更新となる施策を重ねて要請致します。

達成数値を明確に示された「東京都水道施設整備マスタープラン」にも明記されており、また、漏水事故、無効水量を未然に防ぐため、経年管及び初期ダクタイル管を早期に耐震継手機能に優れた強度の高いダクタイル鋼管へ更新する事業を積極的に推進されております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

達成数値を明確に示された「東京都水道施設整備マスタープラン」にも明記されており、また、漏水事故、無効水量を未然に防ぐため、経年管及び初期ダクタイル管を早期に耐震継手機能に優れた強度の高いダクタイル鋼管へ更新する事業を積極的に推進されております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

組員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致すまでもまだ施工余力を残しております。

東京都の水道耐震化工事をトータルサポートします

水道単契(B工事・整備工事)及び案件工事に関する、私道承諾、検査書類・検査立会い、設計図・完成図につきましては都内トップクラスと自負している会社です。また事業者施工につきましても、大手建設業者の施工実績を担っております。



- 【業務内容】
- 水道工事総合コンサルタント
 - 私道承諾
 - 設計図・完成図
 - 現場測量
 - 水道単契工事事務全般
 - 水道案件工事書類全般

弊社は平成13年度の設立以来、東京都水道局と受注者様を最良の関係になる様に尽力してきました。これまでの実績により数十社の受注者様との関係を築く事ができ、水道事業に関わる信頼を得てまいりました。これからも受注者様との協力のもと、水道事業の為に良い提案をし、業務促進に繋がる様に努め、更なる信頼を得られるような総合コンサルタントを目指してまいります。

水道単契工事に関しましては、日報(週報)・写真整理・電算処理・提出書類・現場実測・検査立会いなど迅速且つ正確な処理を行い、水道局並びに御社への安心感を得られるように心がけております。

東京都水道局指定工事店(指定番号6541号)
株式会社リンクス・ジャパン
〒124-0012 東京都葛飾区立石5-12-4
TEL: 03-5671-0680 FAX: 03-5671-0681
Eメール: yorozu@links-japan.co.jp
URL: http://www.links-japan.co.jp

「震災対策等の推進」「安全でおいしい水の供給」による施設整備の方向性や整備目標を達成するための具体的取組の一助となるよう、微力ながら、東京都水道局が示す目標数値、計画期間内の事業量を誠実に履行致しております。

配水管小規模整備工事請負単価契約においては、震災時に断水被害を軽減できるよう、「東京都水道局マスタープラン」及び「東京都水道施設整備マスタープラン」に基づき、耐震継手管への取替の実施を履行するた

又、東京都水道局の施設整備計画に重要となる、事業費における継続的な事業的技術力の維持、並びに向上を目的とした施策の取組を強く要請致します。

TSR(協同組合東京都水道請負工事連絡会)では、組合員を募集しています。

連絡先
TEL 03-6264-9867
FAX 03-6264-9869

地域社会と共に、
私たちは、建設機械・機材のレンタル・販売・修理・特定自主検査業務を営んでいます。
お客様への対応、タイムリーな情報提供及びアフターサービスを含むお客様満足向上に常に取り組んでいます。

株式会社 サンパイ
http://www.sampeij.co.jp

本社 〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-9-5
TEL: 03-3938-7200 代 FAX: 03-3939-2060
西東京支店 〒350-1227 埼玉県日高市女影1217-18
TEL: 042-985-7200 代 FAX: 042-985-7205
多摩営業所 〒196-0002 東京都昭島市拝島町4-7-4
TEL: 042-541-7900 代 FAX: 042-545-1048

TOMIFUJI
Shine Next 100

配管シーリング材のエキスパートです。

高機能製作所は大正15年の創業以来、水道用バルブ・飲料水用バルブ・有機溶剤用バルブ・ガス用バルブ・工業用系のシーリング材を製造するエキスパートです。各用途別に適正かつ高性能な材質を特許し、配管シーリング材のトータルサポートを提供します。

株式会社 富藤製作所
本社 〒114-0003 東京都荒川区南千住6-60-14
Tel: 03-3803-0841 Fax: 03-3805-0374
指定オフィス 〒114-0003 東京都荒川区南千住6-17-8
Tel: 03-3803-0841 Fax: 03-3805-0374
www.tomifuji-ss.co.jp